



社会医療法人
同仁会
Dojinkai
Social Medical Corporation

私たちの理念「一視同仁」

同仁会報みみはら

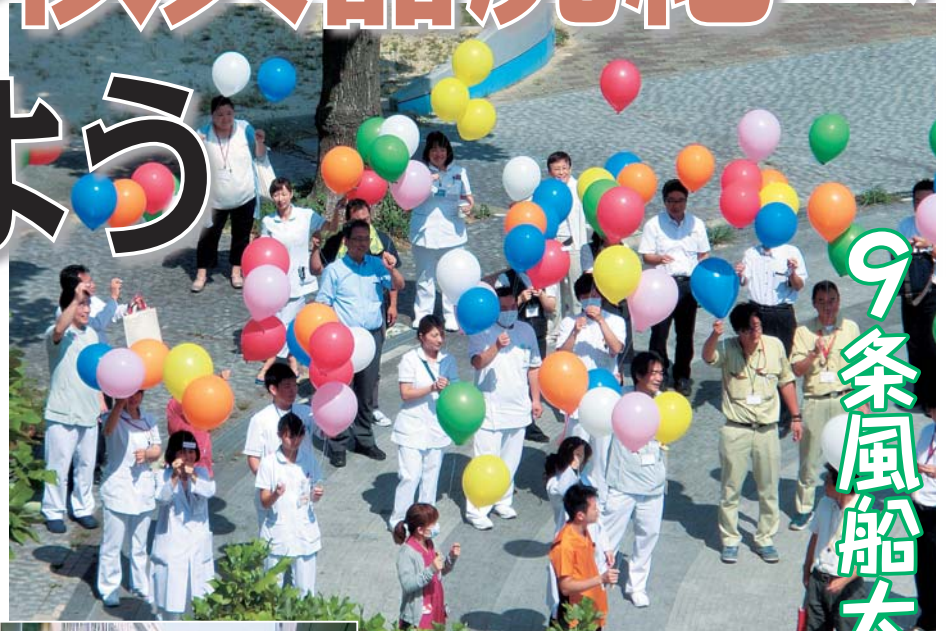
2016年10月1日発行

第48号



発行 社会医療法人同仁会 同仁会報編集委員会 〒590-0824 堺市堺区老松町2丁58-1
TEL 072(244)7260 FAX 072(247)0165 URL http://www.mimihara.or.jp (同仁会HP)

平和への願い 核兵器廃絶へ 学び、行動しよう



9条風船大空へ 9の日行動

原水禁世界大会が8月4日から3日間開催され、広島県立総合体育館で行われた全体会には、5500人の参加がありました。核兵器廃絶を求める日本と世界の運動の交流と、被爆者の生の声を聞きその実相をつかむため、同仁会から17人の職員・友の会会員が参加しました。

そして世界大会で参加者が、学んだこと・感じたことを発表する「原水禁報告会」が、8月25日に鳳工エリア、8月26日に総合エリアで開催されました。鳳工エリアでは30人、総合エリアでは40人が参加しました。

原水禁禁止2016年世界大会の 院内報告集会を開催（総合エリア）

被爆者の話を聞く分科会に参加したグループからは、「被爆者の平均年齢は80歳を超えた。生の声を聞ける最後の世代としてしっかりと次の世代に伝えていきたい」。また話の中で、被爆した祖父の看病をした際、看病の辛さから「早く死んでほしい」と感じてしまった。そのことが70年以上経つ今も心に刺さっている。核兵器は廃絶するしかない。との被爆者のことばが、心に残ったなどの報告がありました。

岩国基地見学の分科会に参加し



総合エリア

鳳工エリア

同仁会では、「9条」の大切さを呼びかける「9の日行動」を毎月継続しています。「9」のならば「9月9日」は、毎年「9条風船」を空へ放っています。今年も総合エリア・鳳工エリアで実施しました。初秋の青空に色とりどりの風船が吸い込まれていきます。風船が「平和のタネ」となって、高く遠く舞い上がりました。

若手職員のご感想

平和への思いを語り継がなければ

研修医・植原Dr

今回、原水禁に参加し、さまざまな形で平和への思いを考えることができました。「核兵器廃絶」の一つの思いに、全国・世界各地から大勢の人々が毎年集まっていること、被爆者の平均年齢が80代になり、今若者が学ぶことが重要であることが、印象に残りました。

広島平和記念資料館へ行き、原爆投下について深く知ることができました。投下による爪痕は未だに深く残っており、その苦しみと悲しみを、語り継いでいかなければならないと感じました。



総合エリアの報告会

たグループからは「基地内の、アメリカ軍に対する思いやり予算」による豪邸やレジャー施設に違和感を覚えた。そのうえ、基地の外で生活するアメリカ兵にまで補助を出す日本政府の姿勢はどう考えてもおかしいとの報告がありました。

最後に、木野副病院長から、「核兵器廃絶は重要な課題だ。妨げる勢力に対して、学び・行動して対抗していく」と提起され参加者全員で力強く確認しました。

こんにちは！ 同仁会グループ 事業所だより

訪問介護のヘルパーは鳳方面、泉北方面あわせて37人、事務所勤務のヘルパーが3人、そしてサービス提供責任者5人の大所帯で日々奮闘しています。

全員が揃うことは難しい中で、毎月のヘルパー会議や、看護師や理学療法士が講師の講習など、技術向上に日々取り組んでいます。

その人の心に寄り添えるようなケアを心がけ、このヘルパーに来てもらってよかったと思っただけのよう頑張っています。

当事業所は耳原鳳クリニックの2階に事務所をかまえ、堺市西区、中区、南区、高石市、そして和泉市の一部まで幅広く訪問しています。同じフロアに訪問看護ステーションと往診部、敷地内にはケアマネージャーの事務所もあり、他職種連携が取りやすく、より良い介護に繋がっているのが強みです。



洗髪介助の講習の様子

10人いれば10通りの援助の形
その人の心に寄り添うケアめざし

耳原ヘルパーステーション ともうず鳳



〒593-8325
大阪府堺市西区鳳南町5丁595
TEL : 072-260-5060
FAX : 072-260-5070